

平成28年11月22日(火)  
午後2時から午後4時まで  
役場1階 第1会議室

## 第5回地域ケア推進会議 議事録

欠席：市川委員、小川委員

### 1 あいさつ

委員長：本会議の一回目から数えて、1年が経過しました。それぞれの回で多くの意見をいただき、サービス向上につながっている。

地域支援の課題抽出、対策検討を中心としてきたが、第七期高齢者福祉計画がスタートするため、その作業が会議に加わることとなる。次年度以降は集まる回数が増えることとなる。よろしくをお願いします。

事務局：高齢者福祉計画について、来年度の策定を予定している。その前段として、アンケート調査の実施を予定している。委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。

事務局：委員の変更について、委員名簿のとおり、変更となりました。自己紹介をよろしくをお願いします。

委員：緊張しているが場に早く慣れていこうと思う。よろしくをお願いします。

事務局：資料確認

### 2 議題

#### (1) 第7期東郷町高齢者福祉計画について

事務局：本日お配りした資料に、議題1が追加されていますので、ご覧下さい。第7期高齢者福祉計画策定にあたり、概要を説明します。

第7期計画は29年度策定、30年度から開始となる。医療計画との整合性を確保するように指示されている。第6～7期の間で変わったのは、①医療介護連携について盛り込むこと、②総合事業について盛り込むこと、③介護離職をなくすことの三つです。

スケジュールをご覧ください。平成28年度はアンケート調査を実施していきます。12月にアンケート作成、1月～2月に実施、3月の地域ケア推進会議でアンケートの集計結果と第6期計画の中間評価を報告させていただく予定です。

平成29年度は、6月ごろの地域ケア推進会議で策定の検討を始めたいと思います。パブリックコメントなどを経たのち、町の政策会議にかけたうえで策定となります。

委員長：来年は少し忙しくなることと思います。

委員：パブリックコメントはどのように実施するのか？

事務局：広報誌やホームページで周知し、ご意見をいただく。ホームページやお手紙などでいただく。

委員長：ここでいう介護離職をなくそうというのは、介護職員ではなく家族介護者の離職をなくそうということです。

(2) 第7期高齢者福祉計画の策定に係るアンケート調査について

事務局：(アンケート調査概要について説明)

事務局：アンケート調査には必須項目と独自項目がある。必須項目は国が決めた項目ですので、変更することができません。全国一律で統計資料として集計するためです。

独自項目について、委員の皆様にご意見をいただきたいと思えます。

配布した資料の誤字脱字や様式などの体裁は、後日アンケート調査業務委託業者が決定次第、事務局で修正します。

《資料1》

事務局：資料1をご覧ください。

6月に地域支え合い協議体を設置し、2か月に1度話し合いをしている。その中で、町独自のアンケート項目について話し合いを行いました。

事前に打ち合わせを行い、協議体にはかり、修正したうえで今回の会議に提示させていただきました。高齢者の方が回答するのには負担があるとの意見がありましたので、ポイントを2つに絞りました。

生活支援での困りごと、元気な高齢者には担い手になってもらえるかの把握です。

こだわったところは、日常生活上の困りごとを誰に支援してもらっているのか、誰にも支援してもらえないのか、という項目を入れたところです。

委員長：それでは、アンケートをご覧いただき、独自項目についてご意見やご質問があればお伺いしたいと思います。

委員：対象者はどのように抽出しますか。

事務局：無作為です。要支援の方の半分がこちらの対象となります。地区も満遍なく行うこと

としています。

委員：項目が多いので、途中で嫌になるのではないかという印象を受けました。

委員長：独自項目の方は少し整理されたとのことでした。

委員：問1（3）要介護1～・・・と記載があるがどういう事か。

事務局：対象者を抽出する時期により、支援から介護になる方がいる可能性があるため、選択肢に入っている。対象者は少ないと思う。

委員：最後のページ問2、外出を控える理由…これは、何を目的としたものか。

事務局：閉じこもりの方を調査する。元気なのに出てこないのか、出てこられないのかを調べる。

委員：わかる必要はあるのか。もう少し簡単な項目でよいのでは。（9）を重視して聞く方が良いのでは。

事務局：事務局で一度検討します。

委員：独自項目問5、委員の言われた表と似ている。もう少しシンプルにできるのではないかと感じた。

事務局：誰からの支援を受けているかを調べたいところが大きな目的であったため、ご意見を参考に検討させていただきます。

委員：介護認定者には居住形態などが聞かれているが、こちらは聞かないのか。

事務局：必要最小限の質問としている。記名式の調査であるため、調べることはできる。

委員：障「害」の字、ひらがなだったり漢字だったりするため、統一しては。

事務局：対応します。

委員：支援の方も対象となるが、問1で有料老人ホームなどに入っている人は迷うのではない

かと感じる。外出の際の移動手段も、施設が送迎するサービスもあるため、混乱し難いのではないか。通院外出散歩をわけなくても良いのではないか。

委員長：外出（通院・散歩）などとしてもよいかもしれない。

委員：国の質問、問3半年前に比べて～…なぜ半年なのだろうと。今ご飯を食べられるかどうか重要なのでは。歯が20本以上あるかどうかもわからないのではないか。サービスを利用するなどし、食事の用意をすることはできるかもしれないので、町の独自項目で、食事がとれているか（食べられているか）どうかを聞くのも良いのではないかと感じる。

委員：国の質問、問3に妻は入るのか。妻以外の人のことを聞いているのか。

事務局：家族以外の方を想定していると思われる。

委員：注釈が入るとわかりやすくなると思う。

事務局：孤食かどうかの質問であると思う。

委員長：誰が見てもわかるようにしてあるとよいと思う。（注釈を入れるなど）

事務局：注釈については確認する。アンケート調査の依頼文を別に用意するため、そこに記載する方法もある。

委員：問6 収入のある仕事とは具体的に…。有償ボランティアのことか。

事務局：就労としての仕事を想定している。

委員：地域での活動に限らない、という聞き方か。

事務局：仕事をしていれば介護予防になるという考えから、どういう活動をしているかをお聞きする項目です。

委員：ボランティアのことかと思っていた。

《資料2》

事務局：(説明)

委員：調査員による調査ができない理由は何か。

事務局：調査期間が決まっており、調査員の数が足りないため有効になるアンケート数が確保できない。

委員：質問項目が多いと感じる。回答数はどれくらいを目指しているのか。

事務局：前回の調査では6割回答。比較的、認定を受けている方でもこちらの必要としている回答をくださる方がいらっしゃるのので、今回も6割程度と見込んでいます。

委員：3年前は、わかりにくいという質問はどれくらいあったか。

事務局：それほど多くはなかったと思う。日に数件の電話問い合わせであった。

委員：回答に協力してくださる家族の方への親切心を文章として入れた方がよいと思う。本人への調査だが実際はまわりの人が協力していると思う。

委員：地域の人や民生委員、地域サポーターなども協力していると思う。

委員：地域サポーター（社協）の力を借りるのはどうか。

事務局：今回地域サポーターに協力要請は行わない予定です。

委員長：就いている職やボランティアをされる方のキャパシティの問題もあると思う。何か知恵があれば教えていただきたい。

委員：主治医との連携については、1件でも行っていればよいのか。

事務局：1件でも行っていればよいと考えます。注釈入れます。

《資料3》

事務局：（説明）

委員長：複数のサービスを提供している場合、サービス供給の状況はどのように回答すべきか。

事務局：問2 サービス提供内容について書く欄を設ける。

委員：これまでも同じ内容を聞いてきたのか。事業所の負担になるのでは。

委員：数字はパソコンで管理しているため、難しくはないと思う。

委員：回答するのは難しくはないと思う。

《資料4》

事務局：(説明)

委員：問13 セクハラ、パワハラ、虐待のマニュアルの整備について聞いてはどうか。災害時マニュアルはどうか。

委員：問5 ケアマネ・事業所調査ともに、レガッタネット以外にどのような連携があるかなど聞くと、利便性などが検討できるのではないか。

委員：地域密着型サービスにも町内・町外の方がいるが、利用者数の考え方は。

事務局：町内事業所のサービス供給の状況をお尋ねするものですので、利用者の全てを対象として数える。

《全体を通して》

委員：議題(1)で、医療計画との整合性について具体的にどのような形で整合性を図っていくのか。

事務局：圏域で集まる機会も増えてくると思うが、具体的にはまだない。

委員：資料1 問8で移動手段にじゅんかい君を追加したほうが良い。資料2 問26は検討中か。また、住民への周知の上での質問ということによろしいか。

事務局：検討している。おっしゃるとおりです。

委員：資料2問5 1割ではなく、自己負担金額とした方がよいのではないか。

事務局：修正します。

委員：要介護認定者用のアンケートについて、ケアマネへの協力依頼は行ったか。

事務局：まだ行っていない。送る際、お知らせする。

委員：全体的に質問の数も多く、町独自項目については認定者が回答するのは難しいと思う。地域密着型サービスなどよくわからない言葉や、総合事業の部分は文字を読むだけでも大変で、理解してもらえないのではないかと思う。

事務局：注釈をつける。

委員：注釈を入れなくてもわかるような文章になればよいが。一般の人もわかるように変えられればよいと思う。

委員：資料2問10 デイのみ詳しく書かれているが、日中出かける場所がある、リハビリを受けて元気になれる、医療が安心して受けられるなどの聞き方がよいのでは。

問22、23 介護者へのアンケートはどうなのか…。問23-25は、まとめられるのではないか。

介護者の集まりに「参加している」「いない」「してみたい」など…。

委員長：12月6日までにご意見などあれば教えていただき、それ以降は事務局と委員長に一任していただく形でよいか。

(全員了承)

事務局：ありがとうございました。ご意見は12月6日までに、長寿介護課へお願いします。

次回会議3月30日に、アンケート結果のご報告及び中間評価を行い皆様にお諮りします。ありがとうございました。